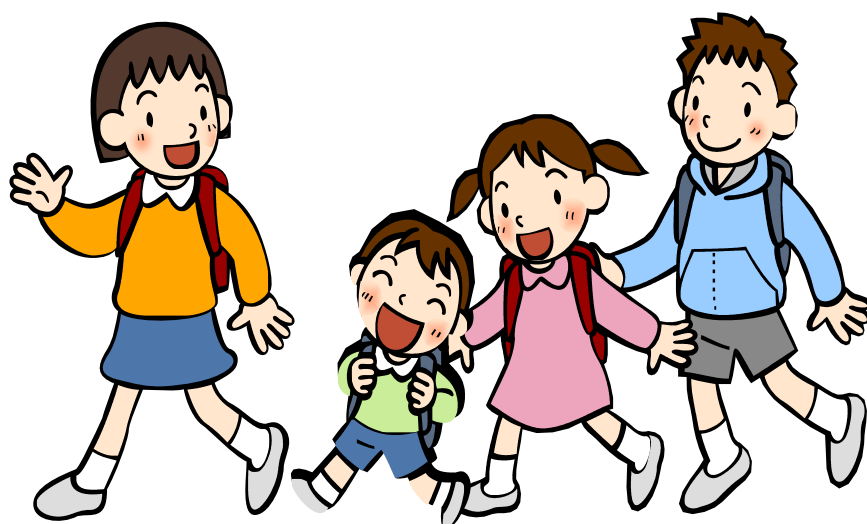


いじめ防止基本方針



邑楽町立高島小学校

令和7年度 高島小学校いじめ防止基本方針

1 いじめの定義といじめに対する基本認識

- (1) いじめとは、「児童生徒に対して、一定の人間関係にある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為であり、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの」である。
- (2) いじめは、生命や身体に重大な危険を生じさせる行為である。
- (3) いじめは人権侵害であり、人間として許されない卑怯な行為である。
- (4) 大人は「いじめはいつでもどこでもだれにでも起こりうる」という認識を持つ。
- (5) いじめ問題の解決に向けては、学校・家庭・地域・関係機関が連携し、一体となって取り組む必要がある。

2 いじめ防止のための重点項目

- (1) いじめの未然防止
- (2) いじめの早期発見・早期解決
- (3) 校内組織体制の充実と家庭・地域・関係機関との連携

3 重点項目への具体的な手立て

(1) いじめの未然防止（トラブル等が発生しにくい学校・学級風土づくり）

- ① 児童一人一人のよさが発揮されるよう、教師が受容的・共感的態度で接する。
- ② 「自己決定」「自己存在感」「共感的人間関係」のある授業づくりを行う。
- ③ 児童たちの学び合いを大切にした「楽しい授業」「分かる授業」を実践する。
- ④ あいさつ運動や「いじめ防止宣言」等、児童会本部が中心となっていじめ防止を訴え、楽しい学校づくりへの自発的・自治的活動を行う。
- ⑤ 学級活動では、学級の諸問題を自分たちで解決できるような話し合い活動を充実させる。
- ⑥ 学校行事や縦割り活動、自然体験学習など、全教育活動を通して、思いやりの心や生命・人権を尊重する態度を育成する。

(2) いじめの早期発見・早期解決

<早期発見>

- ① いじめも含めた「生活アンケート」を月1回実施し、児童の悩みや人間関係を把握するとともにいじめの早期発見に役立てる。
- ② 気になる児童の様子を生徒指導部会や職員会議の場において、情報交換し合い担任を中心に複数の目で対応する。
- ③ 一人一人の児童を複数の目で日常的に観察するとともに、児童の気になる様子にも目を配る。
- ④ 学校全体として、児童が希望する時にいつでも面談ができる体制を整えるとともに、教育相談の充実を図る。

<早期解決>

- ① いじめの状況やいじめのきっかけをじっくり聞くなど、情報収集を綿密に行い、事実に基づいて、いじめの被害者、加害者、周囲の児童への適切かつ迅速な指導を行う。
 - ・ いじめられている児童に対しては、特に担任とスクールカウンセラー、相談員、養護教諭が連携を図り心のケアを十分行う。
 - ・ いじめた児童に対しては、いじめを行った背景を理解しつつ、行った行為に対し毅然と指導する。
 - ・ いじめを傍観した児童に対しては、問題の関係者として事実を受け止めさせ、学級等集団の問題として考えさせる。
- ② いじめられた児童、いじめた児童の保護者に対し、速やかに事実を正確に伝え、るとともに今後の対応の方針を示す。
- ③ 表面的な変化から問題が解決したと安易に判断せず、継続して観察・指導を行う。

(3) 校内組織体制の充実と家庭・地域・関係機関との連携

- ① 校内組織を整備し、確実に機能させる。
 - ・ 生徒指導/教育相談部会（管理職、生徒指導主任、相談員、養護教諭、学年ブロック担当者を構成員とする）を月1回開催し、校内のいじめ問題対策の確認や気になる児童や生活アンケートの結果等における情報交換及び対応について話し合う。なお、担任等は、部会の前に共有フォルダの生徒指導/教育相談のファイルに問題行動や欠席状況などを記録しておく。
 - ・ いじめ問題への対応はチームで行い、事案によって柔軟に編成する。
- ② いじめ発覚時の報告体制を明確にする。（発見者→教頭・生徒指導主任）
- ③ 日頃から教育委員会や児童相談所、医療関係、児童館、学童保育等関係機関との連携を図っておく。
- ④ 年度当初から、通信等や学校ホームページ、学級懇談会等を通して、いじめの問題に対する学校の認識や対応方針、方法等を周知し、協力と情報提供等を依頼する。
- ⑤ 連携を必要とする状況及び関係機関について全教職員へ周知し、迅速に連携できるようにする。

<連携を必要とする状況及び関係機関>

- ・ いじめ発見状況を報告する。—————→ 町教育委員会
- ・ 対応方法について相談したい。—————→ 県教育委員会・東部教育事務所
- ・ 指導方針や解決方法について相談したい。—————→ 町教育委員会
- ・ いじめによる暴行、傷害事件、恐喝等の刑事事件が発生している。→ 児童相談所、警察
- ・ いじめられた子どもが外傷や心的外傷を負っている。————→ スクールカウンセラー、医療機関
- ・ いじめられた子ども、いじめた子どもの心のケアが必要である。→ スクールカウンセラー、児童相談所

4 重大事態への対処

(1) 重大事態の定義

- ① いじめにより当該学校に在籍する児童等の生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがあると認めるとき。
- ② いじめにより当該学校に在籍する児童等が相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあると認めるとき。

(2) 重大事態への対処

- ① 重大事態が発生した場合、教育委員会に報告する。
- ② 教育委員会と協議の上、その事案の調査を行う組織を、関係諸機関を含めて設置する。
- ③ 上記組織を中心に、事実関係を明確にするための調査を実施する。
- ④ 調査結果については、いじめを受けた児童及び保護者に対して情報を適切に提供する。

＜各学年の「心を育てる」年間活動＞

「心を育てる」活動計画

1 年

月	行事内容	目的意識
4	1年生を迎える会	・新たに高島小の一員として仲間入りすることを自覚し、いつも助けてくれる高学年に感謝する気持ちを育てる。
5	団顔合わせ いじめをなくすためにできること（学活）	・自分の学年以外の児童と触れ合うことで、友だちの輪を広げたり、協調性を身につけたりできるようにする。 ・クラスで、いじめをなくすためにできることを考え、年間を通して取り組み、友達を協力したり、助け合ったりしていこうとする気持ちを育てる。
6	J R C 登録式 アサガオの栽培	・学校生活の中で、クラスや友だちのために、気づき・考え・実行するという意識を高める。 ・種を植えてから毎日水をあげて花を育てることで、生命を尊重する気持ちを育てる。
7	特別清掃	・自分たちの学校を綺麗にすることで、勤労の大切さを知る。
10	修学旅行 運動会	・集団行動の中で、自分の役割を果たしたり、公共の場を正しく使う大切さを学ぶ ・自分の目標に向かって、努力しようとする気持ちを育てる。 ・仲間を思いやり、協力することの喜びや大切さを感じられるようにする。
12	人権集会 特別清掃	・人権について考え、講話を聴くことで様々な人がいることを知り、互いに認め合う気持ちを育て、思いやりの心を持てるようにする。 ・自分たちの学校を綺麗にすることで、勤労の大切さを知る。
2	長縄大会	・たてわり班で長縄に挑戦することで、みんなで助け合ったり、目標に向かって努力したりすることの大切さを学ぶ。
3	新入学児体験入学 6年生を送る会 特別清掃	・来年度の一年生を迎え触れ合うことで、学年が上がる自覚や、新一年生に親切にしようとする気持ちを育てる。 ・一人一人が大切な役割ということを意識し、お世話になった6年生への感謝の気持ちを表現できるようにする。 ・自分たちの学校を綺麗にすることで、勤労の大切さを知る。

「心を育てる」活動計画

2 年

月	行事内容	目的意識
4	1 年生を迎える会	・上級生としての自覚をもち、下級生に対する思いやりの気持ちをもつことができるようにする。
5	団顔合わせ いじめをなくすためにできること（学活） JRC 登録式	・下級生の面倒をみたり、上級生の姿をお手本としたりしようという気持ちをもつことができるようにする。 ・クラスで、いじめをなくすためにできることを考え、年間を通して取り組み、友達を協力したり、助け合ったりしていこうとする気持ちを育てる。 ・普段の生活の中で、学校や友だちのために、気づき・考え・実行するという意識を高める。
6	町たんけん J R C 登録式	・自分たちで計画を立てて、身近な地域に出かけ、地域の場所や人との関わりを広げる。 ・普段の生活の中で、学校や友だちのために、気づき・考え・実行するという意識を高める。
7	生きものとなかよし 特別清掃	・生き物を探して捕まえたり、飼育したりする中で、それらの育つ場所、変化や成長の様子を理解し、生き物や自然を大切にしようとする心を育てる。 ・自分たちの学校を綺麗にすることで、勤労の大切さを知る。
1 0	うごくおもちゃ 運動会	・身近にあるものを使って、動くおもちゃを試行錯誤してつくり、友達と競争したり工夫を教え合ったりする。 ・自分の目標に向かって、努力しようとする気持ちを育てる。 ・仲間を思いやり、協力することの喜びや大切さを感じられるようにする。
1 1	修学旅行	・集団行動の中で、自分の役割を果たしたり、公共の場を正しく使ったりする大切さを学ぶ。
1 2	人権集会 特別清掃	・人権について考え、講話を聴くことで様々な人がいることを知り、互いに認め合う気持ちを育て、思いやりの心をもてるようにする。 ・自分たちの学校を綺麗にすることで、勤労の大切さを知る。
1	あしたへジャンプ	・自分の生活や成長を振り返ったり、身近な人々にインタビューしたりして、それらを作品にまとめる。
2	長縄大会	・たてわり班で長縄に挑戦することで、みんなで助け合ったり、目標に向かって努力したりすることの大切さを学ぶ。
3	6 年生を送る会 特別清掃	・一人一人が大切な役割ということを意識し、お世話になった 6 年生への感謝の気持ちを表現できるようにする。 ・自分たちの学校を綺麗にすることで、勤労の大切さを知る。

「心を育てる」活動計画

3 年

月	行事内容	目的意識
4	1 年生を迎える会	・上級生としての自覚をもち、下級生に対する思いやりの気持ちをもつことができるようにする。
5	団顔合わせ いじめをなくすためにできること（学活） JRC 登録式	・下級生の面倒をみたり、上級生の姿をお手本としたりしようという気持ちをもつことができるようにする。 ・クラスで、いじめをなくすためにできることを考え、年間を通して取り組み、友達を協力したり、助け合ったりしていこうとする気持ちを育てる。 ・普段の生活の中で、学校や友だちのために、気づき・考え・実行するという意識を高める。
6	修学旅行	・集団行動の中で、自分の役割を果たしたり、公共の場を正しく使ったりする大切さを学ぶ
7	特別清掃	・自分たちの学校を綺麗にすることで、勤労の大切さを知る。
1 0	運動会	・高島小の一員として、自分の役割を果たし、上下学年の児童とも協力して運動会を成功させようとする気持ちを育てる。
1 1	感謝の集い	・様々な活動に協力してくださった方々をお招きして、感謝の手紙や歌を贈ることで、感謝の気持ちを伝える。
1 2	人権集会特別清掃	・人権について考え、講話を聴くことで様々な人がいることを知り、互いに認め合う気持ちを育て、思いやりの心を持てるようにする。 ・自分たちの学校を綺麗にすることで、勤労の大切さを知る。
1	書き初め大会	・日本の伝統行事である書き初めを通して、その年の抱負や目標などを書き表し、その大切さを学ぶ。
2	長縄大会	・たてわり班で長縄に挑戦することで、みんなで助け合ったり、目標に向かって努力したりすることの大切さを学ぶ。
3	6 年生を送る会特別清掃	・一人一人が大切な役割ということを意識し、お世話になった 6 年生への感謝の気持ちを表現できるようにする。 ・自分たちの学校を綺麗にすることで、勤労の大切さを知る。

「心を育てる」活動計画

4 年

月	行事内容	目的意識
4	1年生を迎える会	・中学年としての自覚をもち、下級生に対する思いやりの気持ちをもつことができるようにする。
5	団顔合わせ いじめをなくすためにできること（学活） JRC 登録式	・下級生の面倒をみたり、上級生の姿をお手本としたりしようという気持ちをもつことができるようにする。 ・クラスで、いじめをなくすためにできることを考え、年間を通して取り組み、友達を協力したり、助け合ったりしていこうとする気持ちを育てる。 ・普段の生活の中で、学校や友だちのために、気づき・考え・実行するという意識を高める。
7	道徳 特別清掃	・「ぼくの生まれた日（ドラえもん）」を行う。親から手紙をもらい、自分の生まれた日の親の喜びを知り、家族の一員として何かお手伝いをしようとする気持ちをもたせる。 ・自分たちの学校を綺麗にすることで、勤労の大切さを知る。
9	運動会	・高島小の一員として、自分の役割を果たし、上下学年の児童とも協力して運動会を成功させようとする気持ちを育てる。
10	修学旅行	・集団行動の中で、自分の役割を果たしたり、公共の場を正しく使ったりする大切さを学ぶ
11	感謝の集い	・様々な活動に協力してくださった方々をお招きして、感謝の手紙や歌を贈ることで、感謝の気持ちを伝える。
12	人権集会 特別清掃	・人権について考え、講話を聴くことで様々な人がいることを知り、互いに認め合う気持ちを育て、思いやりの心をもてるようにする。 ・自分たちの学校を綺麗にすることで、勤労の大切さを知る。
1	書初め大会	・日本の伝統行事である書き初めを通して、その年の抱負や目標などを書き表し、その大切さを学ぶ。
2	長縄大会	・たてわり班で長縄に挑戦することで、みんなで助け合ったり、目標に向かって努力したりすることの大切さを学ぶ。
3	6年生を送る会 特別清掃	・一人一人が大切な役割ということ意識し、お世話になった6年生への感謝の気持ちを表現できるようにする。 ・5年生の働きを見て、来年は自分たちがやるんだという意識と5年生に対する感謝の気持ちを持つ。 ・自分たちの学校を綺麗にすることで、勤労の大切さを知る。

「心を育てる」活動計画

5 年

月	行事内容	目的意識
4	1 年生を迎える会	・高学年になった自覚を持ち、1 年生に親切的な気持ちで接しようとする気持ちを養う。
5	団顔合わせ いじめをなくすためにできること（学活） プール清掃 JRC 登録式	・下級生の面倒をみたり、上級生の姿をお手本としたりしようという気持ちをもつことができるようにする。 ・クラスで、いじめをなくすためにできることを考え、年間を通して取り組み、友達を協力したり、助け合ったりしていこうとする気持ちを育てる。 ・授業で使うプールをきれいにすることで、高学年としての役割の大変さを知り勤労の大切さを学ぶ。 ・普段の生活の中で、学校や友だちのために、気づき・考え・実行するという意識を高める
6	JRC 登録式	・青少年赤十字の意義を考え、理解し、これからの活動に対する意欲を育てる。
7	修学旅行 特別清掃	・集団行動の中で、自分の役割を果たしたり、公共の場を正しく使ったりする大切さを学ぶ ・自分たちの学校を綺麗にすることで、勤労の大切さを知る。
9	陸上記録会	・何事にも挑戦することの意義を考え、記録会に全力で参加しようとする気持ちを育てる。
10	林間学校 運動会	・宿泊学習を通して、友達の大変さ、集団の中でルールを守ることの大切さ、自主・自立について学ぶ。 ・運動会準備や団活動を通して、学校のため、人のために行動することの大切さを学ぶ。
11	感謝の集い	・様々な活動に協力してくださった方々をお招きして、感謝の手紙や歌を贈ることで、感謝の気持ちを伝える。
12	人権集会 特別清掃	・人権について考え、講話を聴くことで様々な人がいることを知り、互いに認め合う気持ちを育て、思いやりの心を持てるようにする。 ・自分たちの学校を綺麗にすることで、勤労の大切さを知る。
1	書初め大会	・日本の伝統行事である書き初めを通して、その年の抱負や目標などを書き表し、その大切さを学ぶ。
2	長縄大会	・たてわり班で長縄に挑戦することで、みんなで助け合ったり、目標に向かって努力したりすることの大切さを学ぶ。
3	6 年生を送る会 特別清掃	・6 年生を送る会の実行委員を通して、行事を企画・運営する力を身に付ける。また、4 月から最高学年であることを自覚させる。 ・自分たちの学校を綺麗にすることで、勤労の大切さを知る。

「心を育てる」活動計画

6 年

月	行事内容	目的意識
4	1年生を迎える会	・最上級生になった自覚を持ち、1年生に親切なお気持ちで接しようとする気持ちを養う。
5	団顔合わせ いじめをなくすためにできること（学活） プール清掃 JRC 登録式	・団をまとめ、先頭に立つ意義を考え、自分たちに与えられた役割を自覚し、自分たちの理想を目標に掲げながら、やっていくことを誓う。 ・クラスで、いじめをなくすためにできることを考え、年間を通して取り組み、友達を協力したり、助け合ったりしていこうとする気持ちを育てる。 ・授業で使うプールをきれいにすることで、高学年としての役割の大変さを知り勤労の大切さを学ぶ。 ・青少年赤十字の意義を考え、理解し、これからの活動に対する意欲を育てる
7	特別清掃	・自分たちの学校を綺麗にすることで、勤労の大切さを知る。
9	陸上記録会	・何事にも挑戦することの意義を考え、記録会に全力で参加しようとする気持ちを育てる。
10	運動会	・団活動の運営、応援合戦の運営、運動会の準備や後片付け、そして競技に対する姿勢などいろいろな角度から最上級生としての役割の必要性を学ぶ。
11	修学旅行	・グループ活動の協力姿勢と公共のマナーを守りながら楽しく活動する力を養う。
12	人権集会 特別清掃	・人権について考え、講話を聴くことで様々な人がいることを知り、互いに認め合う気持ちを育て、思いやりの心をもてるようにする。 ・自分たちの学校を綺麗にすることで、勤労の大切さを知る。
1	書き初め大会	・日本の伝統行事である書き初めを通して、その年の抱負や目標などを書き表し、その大切さを学ぶ。
2	長縄大会	・たてわり班で長縄に挑戦することで、みんなで助け合ったり、目標に向かって努力したりすることの大切さを学ぶ。
3	6年生を送る会 ボランティア清掃 卒業式	・下級生へ6年生としての貫禄を見せ引き継ぎをする。 ・6年間お世話になった教室など、学校全体を、気持ちを込めてきれいにするこゝで、感謝の気持ちを表す。 ・小学校生活最後の授業にふさわしい姿勢と態度で臨み、中学生へ向けての心構えをする。